

教科に関する結果 ＜質問紙調査含む＞

これまでの調査において、課題となっていた内容について、改善の兆しが見られているか確かめましょう。

各学校においては、本調査を活用し指導改善の方途を明らかにして、学力向上の取組を進めてきたことと思います。その結果、児童生徒の学力・学習状況は改善しているのかを具体的に確かめることが大切です。

以下、これまで県全体の課題となっていた点についての結果を示しました。自校欄に正答率を記入するなどして自校の状況を捉え、指導改善の成果と課題を明らかにしましょう。

1 小学校 国語

課題 1 漢字を文の中で、正しく使う力

令和3年度調査結果

(▼はマイナス表示)

問題番号	漢字に書き直す言葉	自校	全国	差 自校-全国	県	差 県-全国
3三(1)ア	ころがっている		78.3		76.0	▼2.3
3三(1)ウ	つみ重ね		54.4		48.6	▼5.8
3三(1)エ	げんいん		79.0		76.8	▼2.2

過去の調査結果

年度 問題番号	漢字に書き直す言葉	自校	全国	差 自校-全国	県	差 県-全国
H31 四(1)ア	調査のたいしょう		41.9		33.4	▼8.5
H31 四(1)イ	友達にかぎらず		69.4		62.1	▼7.3
H31 四(1)ウ	かんしんをもってもらいたい		35.6		34.0	▼1.6
H30 A8ア	せい造		73.4		71.0	▼2.4
H29 A7(1)	参加たいしょう		42.0		34.6	▼7.4
H28 A1=2	したいしい友人と出かける		73.8		70.9	▼2.9

課題 2 文の中の『主語と述語との関係』、 『修飾と被修飾との関係』を捉える力

令和3年度調査結果

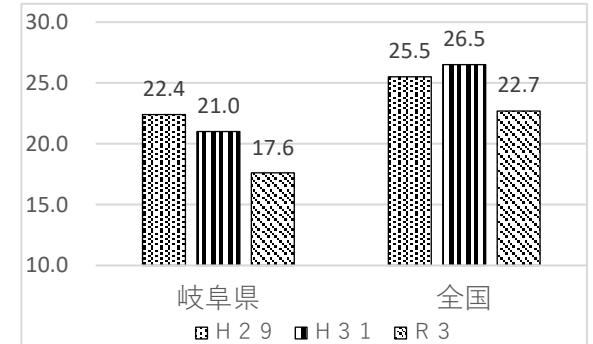
問題番号	出題の趣旨	自校	全国	差 自校-全国	県	差 県-全国
3三(2)イ	文の中における主語と述語との関係を捉える		67.0		58.0	▼9.0
3三(2)オ	文の中における修飾と被修飾との関係を捉える		43.6		35.3	▼8.3

過去の調査結果

年度 問題番号	出題の趣旨	自校	全国	差 自校-全国	県	差 県-全国
H30 A5	文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く		35.5		38.2	2.7
H27 A2=	文の中における主語を捉える		53.1		43.9	▼9.2
H27 A2=	文を構成する主語と述語との照応関係を捉える		71.7		66.5	▼5.2

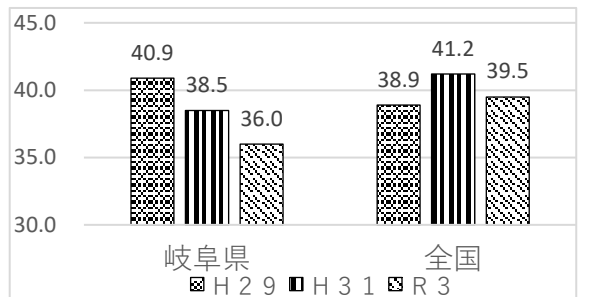
課題3 国語が「好き」「よく分かる」という児童の割合

質問43「国語の勉強は好きですか」に「当てはまる」と回答した児童の割合



自校: H31 () → R3 ()

質問45「国語の授業の内容はよく分かりますか」に「当てはまる」と回答した児童の割合



自校: H31 () → R3 ()

＜県全体の結果分析＞

- ・「漢字の書き」や「主語と述語との関係の捉え」など、言葉の特徴や使い方に関する事項についての5つの問題はいずれも全国平均を下回り、継続して課題となっている。
- ・「国語の勉強が好き、よく分かる」と回答した児童の割合は減少傾向にあり、その要因を捉えて、児童が意欲的に取り組むことができる授業への改善が求められる。
- ・校内で共通理解を図り、国語科だけでなく全ての教科等で課題の解決に取り組む必要がある。

2 小学校 算数

課題1 「データの特徴」や「小数を用いた倍の意味」などを、言葉や数を用いて記述する力

令和3年度調査結果

(▼はマイナス表示)

問題番号	出題の趣旨	自校	全国	差 自校-全国	県	差 県-全国
3(4)	帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる		52.0		52.1	0.1
			無解答率		無解答率	
			10.3		12.0	1.7
4(3)	小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述できる		51.5		50.5	▼1.0
			無解答率		無解答率	
			10.3		13.2	2.9

過去の調査結果

年度 問題番号	出題の趣旨	自校	全国	差 自校-全国	県	差 県-全国
H31 2(3)	資料の特徴や傾向に関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる		52.1		51.1	▼1.0
			無解答率		無解答率	
			2.0		2.2	0.2
H31 3(2)	示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる		31.1		29.5	▼1.6
			無解答率		無解答率	
			10.8		12.6	1.8
H30 B 3(1)	メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述できる		20.7		22.5	1.8
			無解答率		無解答率	
			18.0		18.6	0.6

課題2 図形の面積を求めたり比べたりする力

令和3年度調査結果

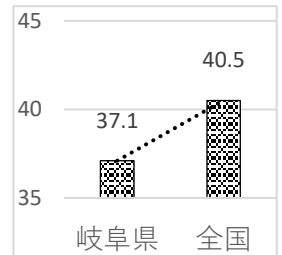
問題番号	出題の趣旨	自校	全国	差 自校-全国	県	差 県-全国
2(1)	三角形の面積の求め方について理解している		55.1		51.5	▼3.6
2(2)	複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることができる		72.5		73.7	1.2
2(3)	複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述できる		46.0		45.6	▼0.4

過去の調査結果

年度 問題番号	出題の趣旨	自校	全国	差 自校-全国	県	差 県-全国
H31 1(3)	示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる		43.9		39.6	▼4.3
H28 A5	三角形の底辺と高さの関係について理解している		82.0		84.3	2.3

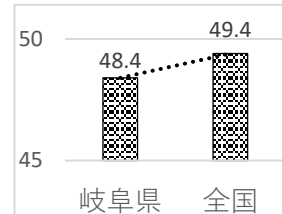
課題3 「算数が好き」「算数の問題をあきらめずに考える」児童の割合

質問52
「算数の勉強は好きですか」に「当てはまる」と回答した児童の割合



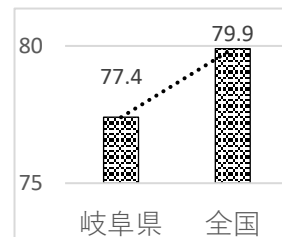
自校:

質問57
「算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」に「当てはまる」と回答した児童の割合



自校:

質問60
「今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらについてどのように解答しましたか」に「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した児童の割合



自校:

<県全体の結果分析>

- ・記述式の4つの問題は、3(4)を除いて全国平均を下回っている。また、記述式の全ての問題の無解答率が、全国平均よりも高くなっている。言葉や数を用いて記述する力を全ての児童に身に付けていく必要がある。
- ・「算数の勉強が好き」、「あきらめずにいろいろな方法で考える」と回答した児童の割合は全国平均を下回っており、児童が主体的に粘り強く取り組み、算数の勉強が好きになる授業への改善が求められる。

【小・算数】指導改善資料 P.7,8

3 中学校 国語

課題1 言語の知識を活用する力

令和3年度調査結果

(▼はマイナス表示)

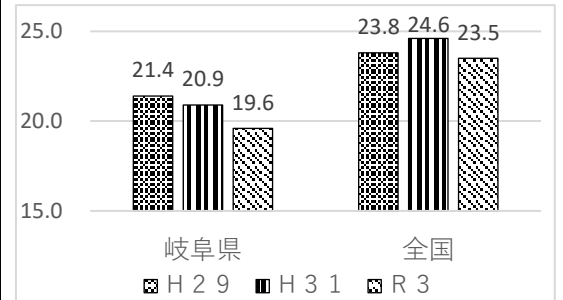
問題番号	出題の趣旨	自校	全国	差 自校-全国	県	差 県-全国
4-①	文脈に即して漢字を正しく読む(伸ばして)		97.5		97.5	-
4-②	文脈に即して漢字を正しく読む(詳細)		88.8		89.2	0.4
4二	事象や行為などを表す多様な語句について理解する		74.0		78.2	4.2
4三	相手や場に応じた敬語を適切に使う		40.3		34.8	▼5.5

過去の調査結果

年度 問題番号	出題の趣旨	自校	全国	差 自校-全国	県	差 県-全国
H30 A8 二I	文脈に即して漢字を正しく読む(模型を作る)		95.7		94.3	▼1.4
H27 A9 二I	文脈に即して漢字を正しく読む(詳細に述べる)		78.2		73.8	▼4.4
H30 A8 三ウ	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う(適切な敬語を選択する)		88.0		87.6	▼0.4
小学校 H30 A7	相手や場面に応じて適切に敬語を使う		56.0		57.5	1.5

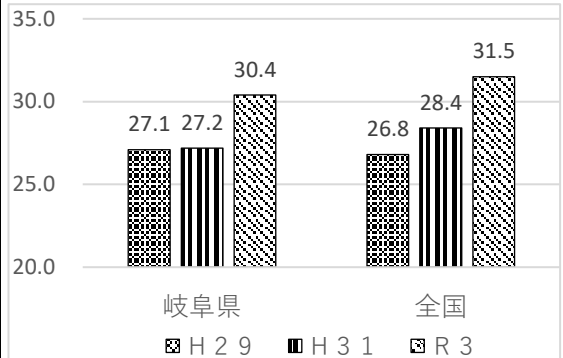
課題3 国語が「好き」「よく分かる」という生徒の割合

質問43「国語の勉強は好きですか」に「当てはまる」と回答した生徒の割合



自校:H31()→R3()

質問45「国語の授業の内容はよく分かりますか」に「当てはまる」と回答した生徒の割合



自校:H31()→R3()

課題2 自分の考えを形成する力

令和3年度調査結果

問題番号	出題の趣旨	自校	全国	差 自校-全国	県	差 県-全国
三四	文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ		20.5		20.8	0.3
			無解答率		無解答率	
			24.1		22.2	▼1.9

過去の調査結果

年度 問題番号	出題の趣旨	自校	全国	差 自校-全国	県	差 県-全国
H31 I三	文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ		91.2		93.2	2.0
H29 B I三	表現の仕方について捉え、自分の考えを書く		41.4		44.0	2.6
H28 B I三	文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く		68.0		72.6	4.6

<県全体の結果分析>

- 平成27年度と同一問題(「詳細」の読み)の正答率が約15ポイント向上するなど、「漢字の読み」について指導改善の成果が見られる。
- 敬語を適切に使う問題は全国平均を下回り、継続して課題になっている。敬語やことわざ、慣用句など、語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができる指導を継続して充実させることが必要となっている。
- 「国語の勉強が好き、よく分かる」と回答した生徒の割合は全国平均を下回っており、その要因を捉えて、生徒が学ぶ喜びを実感できる授業への改善が求められる。

【中・国語】指導改善資料 P.9,10

4 中学校 数学

課題1 数学的に説明する力

- ・結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を～
- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を～
- ・データの傾向を的確に捉え、判断の理由を～

令和3年度調査結果 (▼はマイナス表示)

問題番号	出題の趣旨	自校	全国	差 自校-全国	県	差 県-全国
6(3)	数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる		30.3		32.4	2.1
			無解答率		無解答率	
7(2)	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる		27.7		27.6	▼0.1
			無解答率		無解答率	
8(3)	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる		11.1		19.0	7.9
			無解答率		無解答率	
			32.2		27.7	▼4.5

過去の調査結果

年度 問題番号	出題の趣旨(要約)	自校	全国	差 自校-全国	県	差 県-全国
H31 6(2)	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を説明		34.7		34.5	▼0.2
H31 8(2)	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を説明		40.8		43.0	2.2
H30B 3(3)	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を説明		13.2		12.7	▼0.5
H30B 5(2)	里奈さんの計算を解釈し説明		10.4		12.9	2.5
H29B 3(2)	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を説明		18.4		19.1	0.7
H29B 5(3)	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を説明		17.6		22.1	4.5

課題2 データの特徴や傾向を読み取る知識・技能

令和3年度調査結果

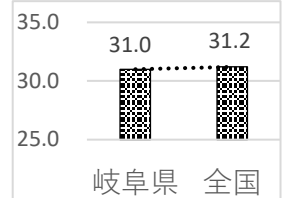
問題番号	出題の趣旨	自校	全国	差 自校-全国	県	差 県-全国
5	与えられたデータから中央値を求めることができる		84.5		86.6	2.1
8(1)	ヒストグラムからある階級の度数を読み取ることができる		83.0		84.0	1.0

過去の調査結果

年度 問題番号	出題の趣旨(要約)	自校	全国	差 自校-全国	県	差 県-全国
H31 8(1)	表から最頻値を読み取ることができる		57.9		52.3	▼5.6
H30A 14(2)	資料から中央値を求めることができる		74.0		71.4	▼2.6
H28A 12(1)	表から最頻値を読み取ることができる		45.5		40.9	▼4.6

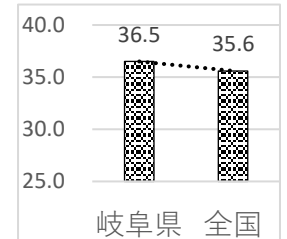
課題3 「数学が好き」「授業がよく分かる」「学習したことを生活の中で活用できないか考える」生徒の割合

質問52
「数学の勉強は好きですか」に「当てはまる」と回答した生徒の割合



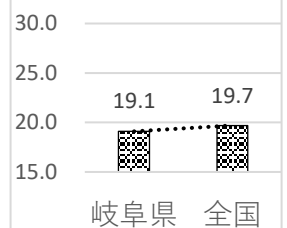
自校:

質問54
「数学の授業の内容はよく分かりますか」に「当てはまる」と回答した生徒の割合



自校:

質問56
「数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」に「当てはまる」と回答した生徒の割合



自校:

<県全体の結果分析>

- ・数学的に説明する力を問う記述式の問題の正答率は約10～30%に留まっている。無解答率は25%を超えている。生徒の学力に応じたきめ細かな支援が必要になっている。
- ・資料等から最頻値や中央値を読み取ることが課題となっていたが、今年度の中央値を求める問題は全国平均を上回り指導改善の成果が見られる。
- ・学習と生活とのつながりを意識させ、学ぶ意義や喜びが実感できる授業への改善が求められる。

【中・数学】指導改善資料 P.11,12